

尾張国分寺跡（おわりこくぶんじあと）

- 1 所在地 稲沢市矢合町中椎ノ木及び椎ノ木地内
- 2 面積 25,321.12 m²
- 3 概要

尾張国分寺跡は、天平13年（741）、聖武天皇の詔により全国に造営された国分寺の一つで、古代尾張国における重要な水上交通路であった三宅川（みやけがわ）左岸の自然堤防上に位置する。周辺には、詳細は不明だが、尾張国分寺跡の北東約4kmに位置する稲沢市松下・国府宮一帯に尾張国府が、三宅川を挟んで北西約1.5kmに位置する稲沢市法花寺町地内に尾張国分尼寺が所在していたと推定されている。

また、伝承によると、尾張国分寺の東西南北四方には、総じて四楽寺（しらくじ）と呼ばれる末寺があり、北方に安楽寺（あんらくじ）、東方に平楽寺（へいらくじ）、南方に長楽寺（ちょうらくじ）、西方に正楽寺（しょうらくじ）が所在したとされている。

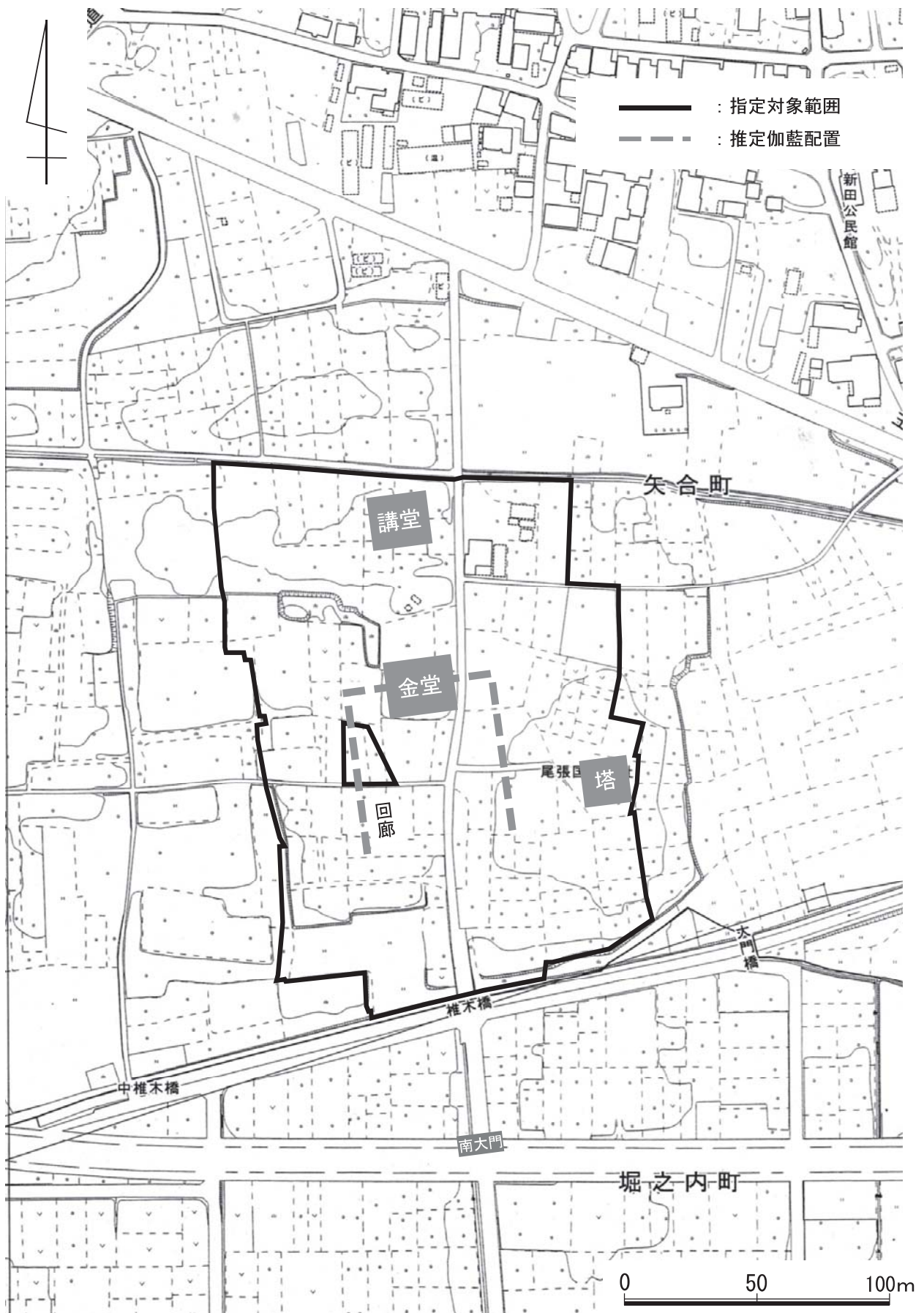
古くは『塩尻』（しおじり）を始めとする江戸時代の地誌の多くに、矢合村の当該地に尾張国分寺跡があったことが紹介されているが、昭和36年（1961）に行われた第1次発掘調査において金堂跡・塔跡の位置や規模が確認され、本遺跡が考古学的に尾張国分寺跡であることが確認された。その後、14次にわたる発掘調査が行われ、大量の瓦が出土し、金堂、講堂、南大門が一直線に並び、塔を回廊の東側に置く伽藍配置が明らかとなった。

『続日本紀』（しょくにほんぎ）には、神護景雲（じんごけいうん）3年（769）に、美濃国との境の鵜沼川（現木曾川）の氾濫によって葉栗・中嶋・海部3郡に被害があり、下流にある国府と国分二寺（国分寺と国分尼寺）が危険であると尾張国から奏上されたとあり、この時期には既に尾張国分二寺が完成していたと思われる。また、宝亀（ほうき）6年（775）に、異常な風雨によって人畜多数にわたり被害を受け、国分寺や諸寺の塔19が破壊されたと伊勢・尾張・美濃の3国から奏上されたとある。

また、『日本紀略』（にほんきりやく）には、元慶（がんぎょう）8年（884）に尾張国分寺が焼損したため、愛智郡定額寺願興寺（あいちぐんじょうがくじがんごうじ）を国分金光明寺とするという勅令が出されたとあり、この時期には廃絶していたと考えられる。なお、この願興寺は、現在の名古屋市中区正木四丁目ほか所在の尾張元興寺跡に比定されている。

発掘調査で出土した瓦の時期からも、8世紀中頃から尾張国分寺の造営が開始されたと考えられており、また、9世紀後半以降の瓦も出土していない。発掘調査の成果と文献史料の記載とが合致しており、尾張国分寺の変遷を考古学と文献史学との双方から知ることができる。

平成22年（2010）には、尾張国分寺跡の保存及び整備を図るため、稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会が設置された。



指定範囲及び推定伽藍配置図

愛知県内の国指定史跡

| | 所在地 | 名 称 | 所有者等 | 指定年 |
|----|------|-----------|--------|-------|
| 1 | 豊川市 | 三河国分寺跡 | 豊川市 | 大正11年 |
| 2 | 豊川市 | 三河国分尼寺跡 | 豊川市 | 大正11年 |
| 3 | 田原市 | 百々陶器窯跡 | 田原市 | 大正11年 |
| 4 | 小牧市 | 小牧山 | 小牧市 | 昭和2年 |
| 5 | 安城市 | 二子古墳 | 安城市 | 昭和2年 |
| 6 | 安城市 | 姫小川古墳 | 安城市 | 昭和2年 |
| 8 | 岡崎市 | 北野廃寺跡 | 岡崎市 | 昭和4年 |
| 7 | 小牧市 | 大山廃寺跡 | 小牧市 | 昭和4年 |
| 8 | 岡崎市 | 北野廃寺跡 | 岡崎市 | 昭和4年 |
| 9 | 豊田市 | 舞木廃寺塔跡 | 豊田市 | 昭和4年 |
| 10 | 新城市 | 長篠城跡 | 新城市 | 昭和4年 |
| 11 | 名古屋市 | 八幡山古墳 | 名古屋市 | 昭和6年 |
| 12 | 名古屋市 | 特別史跡名古屋城跡 | 名古屋市ほか | 昭和7年 |
| 13 | 春日井市 | 二子山古墳 | 春日井市 | 昭和11年 |
| 14 | 豊明市 | 阿野一里塚 | 豊明市 | 昭和11年 |
| 15 | 吉良町 | 正法寺古墳 | 吉良町 | 昭和11年 |
| 16 | 一宮市 | 冨田一里塚 | 一宮市 | 昭和12年 |
| 17 | 豊明市 | 桶狭間古戦場伝説地 | 豊明市 | 昭和12年 |
| 18 | 岡崎市 | 大平一里塚 | 岡崎市 | 昭和12年 |
| 19 | 名古屋市 | 大高城跡 | 名古屋市 | 昭和13年 |
| 20 | 長久手町 | 長久手古戦場 | 長久手町 | 昭和14年 |
| 21 | 名古屋市 | 大曲輪貝塚 | 名古屋市 | 昭和16年 |
| 22 | 田原市 | 吉胡貝塚 | 田原市 | 昭和26年 |
| 23 | 東浦町 | 入海貝塚 | 入海神社 | 昭和28年 |
| 24 | 豊橋市 | 瓜郷遺跡 | 豊橋市 | 昭和28年 |
| 25 | 豊橋市 | 嵩山蛇穴 | 豊橋市 | 昭和32年 |
| 26 | 田原市 | 伊良湖東大寺瓦窯跡 | 渥美町 | 昭和42年 |
| 27 | 瀬戸市 | 小長曾陶器窯跡 | 瀬戸市 | 昭和46年 |
| 28 | 清須市 | 貝殻山貝塚 | 愛知県 | 昭和46年 |
| 29 | 田原市 | 大アラコ古窯跡 | 田原市 | 昭和46年 |
| 30 | 名古屋市 | 白鳥塚古墳 | 名古屋市 | 昭和47年 |
| 31 | 犬山市 | 東之宮古墳 | 東之宮社 | 昭和50年 |
| 32 | 岡崎市 | 真宮遺跡 | 岡崎市 | 昭和51年 |
| 33 | 犬山市 | 青塚古墳 | 大縣神社 | 昭和58年 |
| 34 | 名古屋市 | 断夫山古墳 | 愛知県 | 昭和62年 |
| 35 | 豊田市 | 松平氏遺跡 | 個人（複数） | 平成12年 |